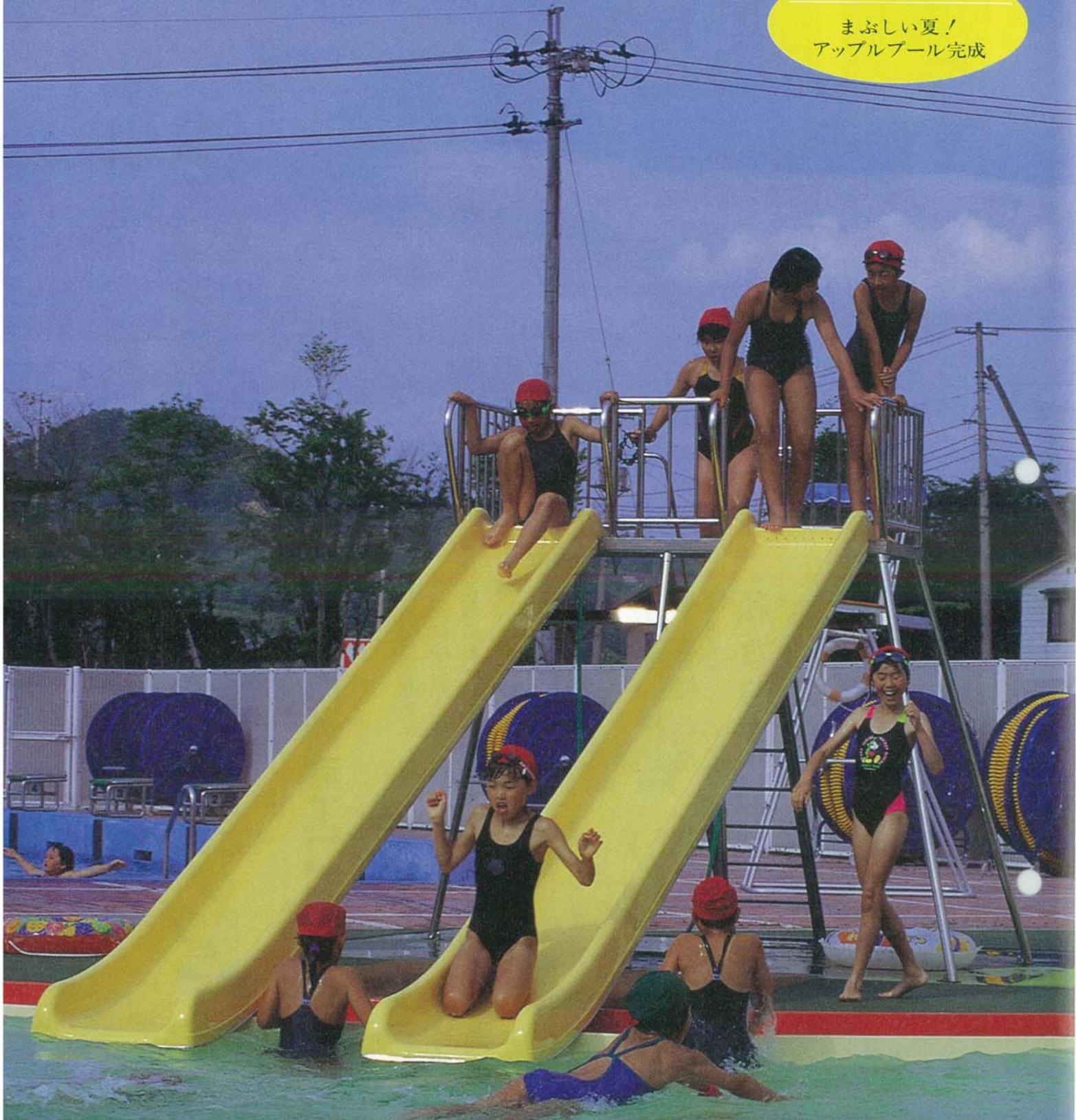


わが町再発見⑯

まふしい夏！
アップルプール完成



広報

あさひまち 7

ASAHI-MACHI

1994
JULY
月号
NO.452

朝日町誕生40周年・「空気の日」記念事業

地球にやさしい町をアピール

最上川清流エコシンポジウム開催

朝日町誕生40周年・「空気の日」記念事業として、「最上川清流エコシンポジウム」が、六月四日から三日間にわたり開催されました。その中から、六月六日に行われた基調講演と、「最上川と環境」をテーマとしたパネルディスカッションの内容を紹介します。



阿部 康子氏

私たちが
誇れる川に

●坂之井 和之氏

川が流れてる朝日町。皆様方は最上川と密接にかかわって暮らしていらっしゃいます。本日は最上川と私たちの環境について、深めていきたいと思います。はじめに坂之井さんからお願ひします。

●坂之井 私ども建設省は、最

上川本川の管理や改修を担当しています。松尾芭蕉の有名な俳句もあり、日本人の好きな川べストテンに最上川が三位に入るなど、県外の方にとつても存在

感のある川となっています。環境については川の利用や観、文化、生物などいろいろな面からとらえています。河川敷をスポーツ広場に利用したり、観光面での舟運を始めている所もあります。護岸をつくる場合にも、あたりの川の風景とマッチしたものを持つくろうと考えています。また、「川の国勢調査」を実施し、生物がどこにどんなものがいるのかを調べたりしています。

最上川というイメージにあつた整備の仕方を心がけ、「誇りをもつた堂々とした川」をつくるにはどうしたらよいか、という



出席者

■パネラー

- ・建設省山形工事事務所所長
- ・東北電力株式会社山形支店調査役
- ・山形新聞社論説委員
- ・アイジー工業株式会社代表取締役
- ・最上峡芭蕉ライン観光㈱社長
- ・米沢生活協同組合常務理事
- ・庄内地区活魚組合代表
- ・朝日町長

- | | | |
|-----|------|---|
| 坂之井 | 和輝敬 | 氏 |
| 辻 | 六由義 | 氏 |
| 川 | 川切本部 | 氏 |
| 石 | 押松阿清 | 氏 |
| 川 | 野 | 氏 |
| 石 | 阿清 | 氏 |
| 押 | 由義 | 氏 |
| 松 | 隆 | 氏 |
| 阿 | | 氏 |

■コーディネーター

- ・フリーアナウンサー

阿 部 康 子 氏



坂之井和之氏

●坂之井 私ども建設省は、最上川本川の管理や改修を担当しています。松尾芭蕉の有名な俳句もあり、日本人の好きな川べストテンに最上川が三位に入るなど、県外の方にとつても存在

感のある川となっています。環境については川の利用や観、文化、生物などいろいろな面からとらえています。河川敷をスポーツ広場に利用したり、観光面での舟運を始めている所もあります。護岸をつくる場合にも、あたりの川の風景とマッチしたものを持つくろうと考えています。また、「川の国勢調査」を実施し、生物がどこにどんなものがいるのかを調べたりしています。

最上川というイメージにあつた整備の仕方を心がけ、「誇りをもつた堂々とした川」をつくるにはどうしたらよいか、という

ことを考えて行きたいと思いま
す。

●司会 つづいて、辻さんお願
いします。

祭りや釣りなどで、地域とつな
がりをもっています。
一方ゴミの問題ですが、ダム
には一日約八トンのゴミが集ま
ります。洪水時期にはゴミの量が、
電所は貴重かつ重要なものとな
っております。それ以外にもワイン

●司会 次に、時代の変化をマ
rinaで、地域とつながりをもつ
てあります。

きな掃除機」になっているので
はないかと思っています。
スコミというところで、敏感に
キヤツチしています石川さんにお願
いします。

最上川は大きな掃除機？



辻 輝彦氏

辻 私ども東北電力では、省

エネルギー、省資源活動に取り

組んでいます。

また、環境にやさしい新エネ

正に最上川は「山形県民の大

●石川（敬） 今回のシンポジ

ウムは、大変意義のあるシンポ

ルギー開発ということで、青森

辻 三百トンから一千二百トンに膨

れ上がり、ひどい時には二千八

ジウムだと思います。

県の竜飛岬に風力発電をつくり

百トン（ダンプ二百五十台分）

辻 三百トンから一千二百トンに膨

るます。それを処理するのに、一

ました。社会の発展にエネルギー

年間で九百五十万円の経費がか

かります。

辻 これは必要不可欠であり、上郷発

電所は貴重かつ重要なものとな

つております。

辻 エネルギー、省資源活動に取り

組んでいます。

地球を考え自ら実践しよう



石川 敬義氏

●石川（敬） 今回のシンポジ

ウムは、大変意義のあるシンポ

環境問題については、地球を

辻 と考えながら自分の身の回りのこ

とからやることが大切です。人

類の歴史の中で環境破壊が進み、

辻 人間の生存そのものが危うくな

つてきており、水も空気も危機

的的な状況にあります。環境保全

辻 の取り組みについては、ヨーロ

ッパでは日本より二十年ぐらい

辻 進んでいます。それは産業革命

辻 で環境を痛めつけたことを、真

辻 剣に反省しております。その結果、

辻 自然環境を大切にしているから

辻 です。

基調講演



「最上川とエコミュージアム」

～自然博物県・山形と母なる川について～

筑波大学・多摩大学客員教授 松田 義幸氏

◆自然資源は無限ではない

日本は、現在3回目の国際化を迎えている。

今回の国際化は、前回までの場合とちがい、世界の新しい秩序づくりに貢献しなければならないといった、質のちがう国際化である。

これまで、自然資源は無限と考えてきたが、実は有限である。先進国の人口は世界の2割なのに、地球資源の8割を消費している。これらの問題を解決して行かなければならない。

昭和54年以降、物の豊かさより心の豊かさを求める傾向が特に目立って来ている。労働時間が短縮され、人生80年の時代となり、生涯の自由時間が増加している。自分の人生をどう作るかということに関心を寄せるようになってきた。自然を支配して自然を無限に開拓する、使い捨ての文化を改める時代になっている。

◆「自然博物県・山形」が提起するもの

芭蕉は、利久の茶の世界のように、自然の変化に従い自然を友とするといったことが、日本人の本質であると言っている。山形は、「草木塔」にも見られるように、自然世界の生き物の一つが人間であり、すべての生物と親戚であるといった考え方方が強い所である。

県が現在考えているのは、単なる箱物の博物館づくりではなく、最上川を生きた博物館と見立てたらどうか、朝日のブナを生命の博物館として見立てたらどうか、そして県民をそれらと係わって豊かに生きる学芸員として位置付けたらどうかということ。山形は、自然の秩序に従い、学びながら充実した生活をしている。そんなことが自然博物県・山形が提起するものである。

◆自然あっての山形

県は、自然に学び、自然に生かされる、自然あっての山形ということを大切にしようとアルカディア山形を打ち出したが、まだ時期が早かった。しかし、平成元年以降は、日本人や世界の価値観が変わってきた。自然を大切に、自然の秩序に従っていかねばならないと変わってきた。世界のファッションも自然をテーマにしたもののが売れているし、自然食も大ブーム。世界が、自然の秩序に添うように動き出している。

山形県も、朝日町も、これからは中央からの押し付けでなく、自分たちがどう生活したいかを考え、それを中央に要望して予算化していく力を付けて欲しい。また、昔の人は、川の中に神様を読み取っていた。これが大事、これからは自然を自然科学だけでなく、芸術文化の面からも教えていくといった町づくりが重要と思う。

自然環境は「今日は大丈夫な
のだから、明日もたぶん大丈夫
だろ」とか「私一人ぐらい環
境を壊しても何とかなるだろ」と
いう、意識の問題があります。
最上川は表流水が豊富で、農業
用水も生活用水も依存していま
すが、水に対する認識を改める
必要があります。川を汚す毒は
以前は工業用水でしたが、現在
は家庭から出る生活雑排水が中

心となっています。身の回りのやれることから、汚さないようにしていくべきです。

また、農業に使用する農薬も

大きな問題となっています。
●司会 次に環境の中での景観
デザインに取り組んでおられる
石川さんにお願いします。

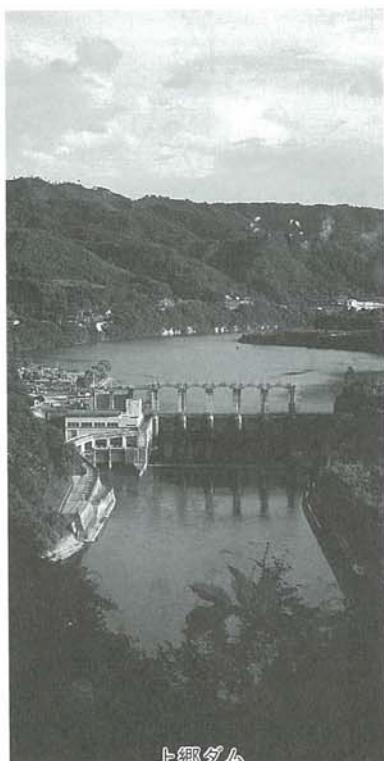
景観にマッチした工場づくり



石川 堯氏

●石川（堯） 私は今年の書き初めに「山河は人を育て、人は芸術をつくる」と書きました。これから日本の国がものすごく豊かになつた場合、日本全国がアート感覚に裏打ちされた、楽しい豊かな環境になつていなければなりません。朝日町が非常に芸術的に香りの高い、そういう町に必ずやなるに違いないという、信念をもつています。究極の住む所、究極に働く場所を求める場合には、何と言つても朝日町のような環境、これを理解する人が必ず出てくると思います。

これからの芸術文化の町、朝日町。「このきれいな景観を壊してはならない」と思い、カラーデザインの先生に依頼し、工場



上郷ダム

一人ひとりの心がけが環境を守る



押切 六郎氏

の色をきれいな空気と水をイメージした、ラベンダーの色（うすむらさき）にしました。効率一辺倒な工場であつてはならぬ。景観に配慮した工場にしたいと考えています。朝日町は過疎、僻地というとらえ方ではない時代です。これからのすぐれた製品は、この朝日町から出て行くという時代なのです。

●司会 町民のみなさんと一緒に歩いて、すぐれた景観を守つて行きたいと思います。

●司会 つづいて、最上川の中流で活動されています押切さんにお願いします。

「最上峡芭蕉ライン舟下り」を始めました。年間三十五万人の観光客が訪れて来ます。上流から非常に多くのビニール袋や、発泡スチロールが流れ来て、周りの柳の木にひつかかり、景観をそこね困っています。そこで、建設省が音頭を取り、地区民総出で清掃作業をしています。

私は常々、川は民間の心がけだけに頼つていて良いのかと考えています。行政からの協力が必要です。また、除雪した雪をダ

ンプで最上川に流され、それが私の所でひつかかり、夜になると冷えて氷河のようになつた時もありました。刈り取った草や

石鹼を使つてきれいな川に



松本由美子氏

●松本 私たちの生協は石鹼を使うことを活動の柱としてきました。米ぬかで出来た「ライスター」という粉石鹼を使用しています。石鹼と合成洗剤の違いを、ぜひ知つていただきたいと

思います。石鹼は動植物が原料で出来ています。逆に合成洗剤は、石油系で出来ており決して水に溶けないものです。水を守つて行くには、水に溶けない成分があるというのは、非常に良くなないことだと思います。合成洗剤から石鹼に切り替えたら、水はもつともつときれいになると思います。

●司会 次は阿部さんにお願いします。

●司会 次に上流部の生活者の一人として、松本さんお願いします。ナイロンも流れて来て、舟のスクリューに絡まつてしまい、困つてゐる状況です。一人ひとりの心がけで直して行けることがあります。

海に流れつく粗大ゴミ



阿部 義男氏

●阿部 庄内浜では年間二万トン、金額にして約五十億の水揚げをしています。山の樹木を伝つて流れる川からは、多くの資源が海に注ぎ、海藻やプランクトンを育てるなど、海の生物に



朝日町は南北21kmの最上川が流れている

農薬や生活排水、ゴミ等、魚や漁業にとって、有り難くないものも流れてくるのが現状です。最も川の河口海域は、車エビなどの産卵と稚魚の育成場所となっており、重要なところとなっています。川に流れ込んだ有害物質が、最終的に海に流れ込んでくると、魚そのものが汚染されることがあります。ま

た、冷蔵庫など粗大ゴミが網にひつかかり、被害を受けることが度々あります。特に、農業用ビニールが漁船のスクリューに絡まり、海難事故になる場合もあります。

消費者に安全で新鮮なおいしい魚を提供するため、ご協力をお願いします。

○ 司会 それでは、清野町長さ
んお願いします。

清流をとり戻す
発信基地 朝日町

灰す

地朝日町

今年初めてやつています。

をなるべく少なくする方式を、

● 石川（堯） これから飲み水
が最大の商品になると思います。
「朝日連峰水」として清冽な雪
解け水なんだということで、売
り出したらどうだろう。朝日町
の知名度を上げて行かないとい
けません。この二十五市町
村が一丸となつて、「母なる川最
上川をどう守るか」を訴えたい
と思います。川を美しくする条

● 石川（堯） これから飲み水が最大の商品になると思います。「朝日連峰水」として清冽な雪解け水なんだということで、売り出したらどうだろう。朝日町の知名度を上げて行かないと、せっかくの環境は宝の持ち腐れになり、過疎の解消にはならないと思います。

例を制定し、関係する市町村が河川の監視員を設けたり、住民啓発のリーダーの育成を図ったりしながら、これから児童生徒のためにも、きれいな最上川

● 司会 それでは会場の方々からも、意見や感想を出していただきたいたいと思います。

啓発のリーダーの育成を図つた
りしながら、これから児童生徒のためにも、きれいな最上川を
伝承する必要があることを、
訴えて行きたいと思います。

だきたいと思います。
● 参加者 最上川本流にダムをつくることは、自然環境を切断することにならないのか。
● 石川（敬） 山の森林が健全

いずれにしても、わが町が他の人事でなく、「私たちが母なる最上川をきれいにしましょう」というようなことを、これからも心がけながら、がんばつて行きたいと思います。

● 坂之井　ダムは無いにこしたことはないが、人間が生活をして行く上で必要です。その比較境への影響が違います。自然の生態系のバランスからいけば、切断することになると思います。

● 言会補足説明がありました
らお願いします。

で行く上で必要です。その比較の問題だと思います。

・辻 他では逆転の発想で、川

●司会 大変貴重な提言ありがとうございました。母なる川最

したりして、利用している所もあるようです。きれいな川にす

上川を誇りにもつて、最上川を
良く見て、氣づいたことを行動

るには「私がやらなければ」というモラレが最も大切です。

に移すことが大切ではないでしょ
うか。

坂之井 最上川上流の護岸工

事でも、周りの自然との違和感

で五十六億二千五百八十九万三千円となりました。

▼ 主な補正予算

環境保全基金費（小野建設寄付相当分）

一般じんかい処理事業（収集車一台増強）

園芸銘柄地育成事業（防霜ファン設置補助）

農業研究所運営費（農協負担相当分）

団体営農道整備（笛子平）

朝日町土地改良区補助

長根地区農免農道整備事業（二期）測量設計

林道維持管理

林道施設現年補助災害復旧事業

除雪機械格納庫整備

側溝、舗装工事費

線の住民利用については、昨年十月一日より試験運行を開始しておりましたが、このほど文部大臣の承認が下り、許可されました。六月一日から正式に運行しております。

おりました。このほど文部大臣の承認が下り、許可されました。六月一日から正式に運行しております。

おりました。このほど文部大臣の承認が下り、許可されました。六月一日から正式に運行おります。

おりました。このほど文部大臣の承認が下り、許可されました。六月一日から正式に運行おります。

町では昨今の結婚難に対応するため、新たにハッピーアシスタンント制度を発足しました。気軽に相談できるようになると、比較的若い三十一人の方に委嘱。幸せを願い一人でも多くの方が結ばれるよう応援し、後継者対策の充実を図ろうといつものですが、独身者の紹介や情報交換が主な活動内容です。

これを機会に、一日も早くすばらしいカップルが誕生することを期待しています。

委嘱された方は次の方々です。

ハッピーアシスタンント制度を発足 結婚を応援 31人に委嘱

地区名	氏 名	電 話
本 町	鈴 木 徳 博	67-2047
西 町	柴 田 弘 美	67-3757
助ノ巻	伊 藤 賀代子	67-3737
大 町	今 井 仁 志	67-2102
元 町	鈴 木 隆 一	67-2386
前田沢	倉 沢 美津子	67-7437
四ノ沢	清 野 艷 子	67-2853
小 原	佐 藤 安 正	67-2860
大 隅	鈴 木 敏 夫	67-3082
古 横	渡 辺 薫 子	67-2717
下芦沢	渡 辺 豊 子	67-7222
松 原	松 尾 明 子	67-3664
常 盤	長 岡 善 司	67-2528
夏 草	阿 部 正 春	67-2608
西船渡	海 野 さち子	67-2035
太郎二	相 座 洋 子	67-2094
太郎三	大 井 正 直	67-3253
立 木	長 岡 厚 子	67-7812
松 程	阿 部 知 一	67-7307
松 程	阿 部 タカエ	67-2467
大 谷一	白 田 富士子	68-2028
大 谷二	白 田 忠 一	68-2433
大 谷三	志 藤 恵美子	68-2712
大 谷三	白 田 信 哉	68-2359
大 谷五	渡 辺 恵美子	68-2832
大 谷六	川 村 久美子	68-2166
舟 渡	堀 い く	68-2305
栗木沢	遠 藤 二三夫	68-2504
栗木沢	佐 久 間 源 七	68-3439
大暮山	長 岡 良 一	68-2926
大 沼	小 林 とよ子	68-2054

年度と比較し、入り込み者数が六・七%の減、売上総額が四・六十九万一千円となり、当年度欠損金は七百二十四万八千円となりました。

要因は、冷夏、長雨等の天候不順による夏場の来観者数の減少が考えられます。

胃および大腸検診を毎週水曜日に実施しています。また、一日ドック等の検診後の精密検査を、六月から毎週土曜日実施しています。

平成五年度の決算見込みは、平成五年度の運営状況は、前年比十八万八千円の赤字決算になる見込みです。料金改正を延期して参りましたが、埋設水管更新事業の計画的な実施に伴い、どうしても改定せざるを得ない現状になっています。

平成五年度の決算見込みは、平成五年度の運営状況は、事業収益が六億八千四百四十四万三千円、事業費用が六億九千百六十万一千円となり、当年度欠損金は七百二十四万八千円となりました。

【水道事業所】

平成五年度の決算見込みは、平成五年度の運営状況は、事業収益が六億八千四百四十四万三千円、事業費用が六億九千百六十万一千円となり、当年度欠損金は七百二十四万八千円となりました。



朝日町のあゆみ

カメラで振り返る40年——その③

朝日町は今年の十一月で満四十歳を迎えます。 本月のカメラさんは、カメラで振り返る40年シリーズの第三弾として、昭和四十年代から五十年代の写真を紹介し、当時の町づくりを振り返ります。



大平橋で「おしんロケ」(昭和58年)



熊大出没、方々を荒す (昭和54年)

交通事故ゼロ記録千日達成記念パレード
(昭和52年)



豪雪にみまわれ被害総額6億円に (昭和48年)



第29回県青年大会(朝日町で開催)の準備にとりくむ青年たち (昭和55年)



太郎トンネル開通
(昭和55年)



最上川中流農業水利事業古檍工区（トンネル）でガス爆発事故発生、
9名が死亡（昭和51年）



町民体育館完成（昭和48年）



統合中本校舎落成、朝日中学校が開校
(昭和52年)



白倉に町民スキー場オープン（昭和54年）



企業の誘致すすむ（昭和45年）



農免道路芦沢線完成（昭和45年）

ひろば



この日は山大生自らがチャーチーした大型バスと、楽団員で開かれました。女子大生の運転するトラックに立百二十周年を記念した訪問演奏会を催し、音楽を通して豊かな情操を育みたいと、同楽団にお願いし実現したものでした。

また、代表児童がクラリネットなどの楽器に挑戦。はじめは音が出ませんでしたが、楽団員のおねえさんやおにいさんに親切に教えてもらい、見事に吹くことができました。その後、楽団の伴奏で児童たちが校歌など三曲を大きな声で歌い、この迫力のある大合唱に会場は熱気に包まれていました。

児童たちは「とても楽しかった。多くの楽器を見ることが出来てうれしい」と感動し、心に残る有意義な演奏会でした。

楽しい演奏会

上郷小

山形大学吹奏楽団の訪問演奏会が六月二十五日、上郷小学校で開かれました。これは、日ごろ生の芸術に親しむ機会が少ないとから、創立百二十周年を記念した訪問演奏会を催し、音楽を通して豊かな情操を育みたいと、同楽団にお願いし実現したものでした。

この日は山大生自らがチャーチーした大型バスと、楽団員で開かれました。女子大生の運転するトラックに立百二十周年を記念した訪問演奏会を催し、音楽を通して豊かな情操を育みたいと、同楽団にお願いし実現したものでした。



消防団に即戦力 初任団員 訓練で技を磨く

第三十九期消防団初任団員合宿訓練が、六月二十五日から二日間の日程で町中央公民館で開催されました。

今年団員になつた二十八人が参加し、ポンプの操作やロープのつなぎ方などを学びました。実火災を想定した模擬火災訓練では、中継放水するなど初任団員自らが工夫をこらし、すつかり自信をつけた様子。実火災においても即戦力として、大いに期待されています。

西原/
渡辺 知子さん
(宮宿小3年)
おばあちゃん
渡辺きよゑさん
(70歳)



わたしのばあちゃん

わたしが帰るとばあちゃんは「おかえり」と、え顔で言ってくれます。お母さんがおそい時は、いもの皮をむいたり、料理のじゅんびをしてくれます。足やかたがいいのに、草とりや畠仕事もしています。わたしがときどきかたをもんあげると、とてもよろこんでくれます。これからも元気で長生きしてね、ばあちゃん。

知子

となりのトトロさん

作・ホリイ (67)



町民の

ひとことトーク

楽しく汗を流す グラウンドゴルフ

～上郷地区大会の審判長～



佐藤広勝さん
(宇津野・35歳)

十七日に行われる、第二回上郷地区グラウンドゴルフ大会の準備にがんばっています。

「人が少ないからやつてみないか」と誘われたのが、はじめたきっかけ。結果は三位でした。

(上位十人が立川町での国体に出席)。小学生から年配の方まででき、ルールも簡単。でも奥も深い。二回の町大会では優勝と百十七位でした。ちょっとした気持ちの乱れで、ボールはポストに入らなくなります。

昨年の十月、上郷の各団体の協力を得て第一回大会を開催し六十人余りが参加しました。今回は百人以上参加してくれると思います。楽しく汗を流し、反省会ではうまいビールを飲みましょう。私が審判長を務めます。賞品もたくさんあります。

十七日に行われる、第二回上郷地区グラウンドゴルフ大会の準備にがんばっています。

「人が少ないからやつてみないか」と誘われたのが、はじめたきっかけ。結果は三位でした。

(上位十人が立川町での国体に出席)。小学生から年配の方まででき、ルールも簡単。でも奥も深い。二回の町大会では優勝と百十七位でした。ちょっとした気持ちの乱れで、ボールはポス

トに入らなくなります。

上郷ダムを左に見、杉の原の小高い丘を左手に見ながら坂を下りると、大きく視野が広がって宮宿地区が一望できる。

緑の自然に包まれて息づいているこの中心集落は、落ちついた風情をみて美しい。

大正元年十月二十三日、宮宿の農業布施仙之助・よしの夫婦の長男として生れた芳太郎は、高等科を卒業すると家業に就くが、昭和八年一月陸軍歩兵第三十二連隊に入隊。その後兵役に専念し、勲七等青色桐葉章に叙せられている。昭和十七年七月に陸軍軍曹となり退役。

この十年にわたる年月は、彼を筋金のはいつた幅のひろい人

ふるさと 人国記

51

布施芳太郎 —町農業発展に尽した人—

物に育てあげたのである。

昭和二十五年、部落養蚕実行組合長を手はじめに、栄町の区長を十二年間つとめあげた。

昭和四十八年に朝日町宮宿農協組合長理事となり、農協合併

後の大正元年からは朝日町農協理事となり、初代白田組合長

を常務理事として助けるのである。

昭和五十三年からは山形朝日農協組合長理事として六年間力を尽し、実績をあげる。

当初からの養蚕関係への働きについては、昭和五十八年四月に板垣県知事より、山形県蚕糸功労賞を受賞している。

壮年時代からひたすら町のため農協のために尽した功績は限りなく多い。自らをして他の功を保った大人物であった。

平成四年十一月八日の午前一時四十五分逝去。その偉業をたえて戒名には修院大運自圓居士とある。享年八十一歳。

文・杉ひさし

多田積さん・松田俊子さんが

山形地方法務局長表彰



多田さん



松田さん

形地方法務局長表彰を受賞されました。

人権の擁護と人権思想の普及高揚に、献身的に貢献された功績が認められ、今回の受賞となつたものです。

両氏は「今後とも困っている人をぜひ助けたい。幸せになつてほしい」と熱い思いを語つてくれました。

人権問題の相談は毎週木曜日午前十時から午後三時まで、町

中央公民館で行つておりますので、お気軽にいで下さい。

東北大会優勝 ライフル射撃大会

ん（真中）が優勝しました。

今大会には東北各地から約二

百人が参加。堀さんは、始めて

まだ二年半とのことです。が、猛

練習を積み初挑戦で見事優勝に

輝いたものです。

今後は社会人全国大会にチ

ヤレンジしたい」と、次の目標に

かける抱負を、力強く語つてくれました。



堀 浩彰さん

宮城県ライフル射撃場で行われた、第十二回東北ライフル射撃選手権大会の、エアライフル三姿勢六十発の部で、堀浩彰さ

人権擁護委員として活躍されている、多田積さん（大町）と松田俊子さん（太郎二）が、山

心ふれあう父親学級 ～わかば保育園～



「このひこうき遠くへ飛ぶかなあ？」「うん、きっと飛ぶぞ！」

わかば保育園父親学級が6月26日、立木地内で開催されました。

お父さんと一緒に作った紙ひこうきを、遠くへ飛ばすゲームや、親子クイズ大会が行われ、楽しいひとときを過ごしました。親子クイズでは、「さくら組のお友だちは、男の子の方が多い？」など、保育園に関する問題が多く、意表をつかれたお父さんは、あわてて園児に聞く一幕も。

その後、お母さんの心のこもった手作り弁当を広げての楽しい昼食。心ふれあう、ほのぼのとした親子の光景が、あちこちで見られました。また金魚すくいも行われ、思い出に残る一日でした。



阿部 保さん
太郎二
弘恵さん



同じ職場・半径1.2km範囲内で、ふつうに出会ったという2人。職場の飲み会で二次会に行ってから、お互いに“フト気づいたら意識しはじめていた”的が3年前。あたため続けて、この6月にめでたくゴールイン。

「弘恵さんの面倒みが良くて、包容力のあるところが好き」と照れくさそうに語る保さん。「チャレンジ精神があり、前向きで行動力のある保さんにひかれた」という弘恵さん。しっとりと落ち着いて「何でも語り合える明るい家庭をつくりたい」と語ってくれました。

「子どもは？」の質問に「お金の続くかぎりつくりたい」とにっこり顔を見合させるアツーイおふたり。お金は天下のまわりもの、朝日町の人口増加にぜひ一役も二役もかっていただきたいものですね。

(小関典子広報委員)



まとまりの良い高田地区の皆さん

高田は、町の中心部から北西に三・八頃。名前とおり東向きの高台にある戸数十六戸の小さな集落です。集落全体が純農村のたたずまいとして保存されおり、地獄沼、山伏峠など昔ながらの地名が今なお使われています。後方にそびえる道円山には広大な雑木林があり、その峯には

（渡辺政一広報委員）

今から百年ほど前の明治の半ば、奉公にきている若者たちや地区民に勉学を勧め、現在の公民館敷地に高田部落青年会館を建設し、夜学に励んだことがあり、それが山形県の青年学級の始まりとなっています。

公民館活動も盛んで、区民卓球大会は十二回を数え、先日行われたゲートボール大会には、区民五十三人中四十人が参加するなど、区の団結、まとまりの良さがうかがえます。

「ウワーアー！ つめたい！」「オーバー！ すべり台もあるぞ！」待望の幼児用アップルプールが六月二十五日オープンし、連日大勢の子供たちや親子連れでにぎわっています。子供たちは歓声を上げて大喜び。思いっきり水しぶきを上げながら、水遊びをしたり泳いだり、さわやかな夏を満喫していました。

町の特産品であるりんごの形をしたプールで、りんごの軸にあたる部分が「すべり台」にな

ふるさと
めぐり
(47)

区民総出の ゲートボール大会

高田

修驗道跡がみられ、当時、山岳信仰の宿場として栄えたことを偲ばせています。

笑顔あふれる 孫育て学級！

元気な孫を育てようと「孫育て学級」が6月22日、町中央公民館で開催されました。

当日は、初孫をもうける方や希望者など、かわいい孫たちのために18人が参加しました。

さっそく実物大の人形を使って「赤ちゃんのお風呂の入れ方」の実技に挑戦。経験はあるものの、最初はおっかなびっくりで悪戦苦闘していましたが、要領が分かると実力を発揮、さすがに上手にこなしていました。参加者は「赤ちゃんの向きを変えるのが不安だったけど、これで自信がつきました」と、これから生まれてくる孫に思いを馳せながら、笑顔で語ってくれました。この教室はお互いの孫育ての情報交換の場ともなっており、笑いの絶えない楽しい勉強会でした。



「オー、ヨチヨチ、私がおばあさんですよ」

アップルプールがオープン！ 子供たちも大喜び



すべり台は子供たちに大人気！

地域と一緒にとなつて

青少年の健全育成を

スポーツ少年団活動

昭和三十九年に開催された東京オリンピックを契機にスポーツ少年団制度ができ、それまで中学校部活動が少年スポーツの主流であつたものが、小学校レベルにもスポーツ少年団が組織され、スポーツの底辺拡大につながつております。

スポーツ少年団

活動とは

そもそも、スポーツ少年団の理念は特定の種目に固執せず、

小学校時代にはあらゆるスポーツに親しみながら、青少年の健全育成を図ることを目標にしております。

しかし、子供たのはげみ、指導者の確保、母集団（父母）の育成など、スポーツ少年団の運営上どうしても近い目標設定が必要であり、それが各種競技大会の参加であります。いわば各種大会は、良い意味

での実力テストであり、その反省の上にたつてレベルアップを図るために、競技中心のスポーツ少年団活動が現実の姿であります。

然とした結果がでております。もちろん、その陰には支えてくれた理解ある両親や優秀な指導者に恵まれたこともあります。

大会の上位入賞者がすなわち中学校、高校の大会で活躍しております。例えば、平成五年度県剣道高校チャンピオン（全国ペスト八）の兼子洋君（大谷一）は、大谷剣道スポーツ少年団、朝日中学校から県内でも屈指の厳しさで知られる日大山形高校とすすみ、それぞれの時代に常に県のトップ選手でした。過去数年の高校優勝記録をみても歴

年生までとなつておらず、中学生までの団員構成は県内でも珍しいほうです。指導者は全国大会出場経験者が多くその経験に基づき、火曜日と木曜日に大谷小学校で練習を行つており、強化期間は別に計画しております。

再生紙の

F21プロジェクト

小学生の指導者は、持ち上がり年担任責任制をとつており、竹刀のもち方から教えて、その学年が六年生になれば、全国大会の監督として采配をふるううわけです。

したがつて、低学年時に気を抜けば六年生の時に苦労するし、くみになつております。県内遠征、県外遠征はそれぞれの学年で計画し強化しております。

中学生の指導は原則として全員で行い、中学校の部活動と剣道連盟とのきずなを大事にし、道活動の強化にも剣道連盟が全面的にバックアップしております。団の目標は小、中とも県大会優勝全国大会上位入賞です。

これは、「環境教育の一環として役立ててください」と、自分たちで作った環境読本と一緒に、小学校四年生百四十三人全員に贈られたものです。このグループは、先に行われた生活アイデアコンテストで、空気賞（最高優秀賞）を受賞するなど、環境問題に熱心に取り組んでいます。子供たちには「廃品回収で集めた新聞紙や雑誌が、こうしたノートに生まれ変わっていることを学んでほしい」と話していました。

六月十四日、F21生活環境ゴミとりサイクルグループより、再生紙のノートを寄贈いただきました。



阿部教育長にノートを手渡すF21代表者

ほめて教える

ことの難しさ

次第でどのようになるという責任の重さです。

指導理念は元剣道連盟会長清野寿郎先生の口ぐせであります

た「厳しさのなかにも、ほめて教えること」ですが、ほめて教えることの難しさを今になって痛感しております。

子供たちは、限りない可能性があります。スポーツ少年団活動は、子供たちが大きく伸びるための大変な基礎づくりであり、指導者はその限りない可能性を預かる責任の重さを強く認識しております。言いかえれば、白紙に絵を描くように、指導者

際には、全面的に協力を願っております。

地域ぐるみの支援が大切

このように、本少年団は、子供、父母、指導者、地域(学校)

と三位一体ならぬ四者一体となつております。どれが欠けても良い成果は期待できない状況です。

そんな中で、時には悩み苦しみ、時には喜びを分かち合いながら活動を行つてゐるのです。

いかなる分野でも、高レベルの成果をめざすためには、①ひ

まだれ②かね③指導者の質の三要素が不可欠であります。その団体の許されるギリギリの範囲内で、しかも効率的に活動する必要を感じております。

(舟渡五十嵐義一)

母から役員を選出しし年間の事業計画、経理、各種大会や遠征の輸送計画、強化計画や連絡調整をやつております。少年団を実質的に運営しております。

さらに、本少年団の特色として、北部区長会や大谷連合区など地域をあげた支援があり、毎年出場している全国大会出場の

「空気神社まつり」俳句・短歌大会入選作品

六月五日の「空気の日」に行われた俳句・短歌大会は、朝日自然観の空気神社境内を中心にして、参加者の即詠作品が寄せられ、入選者に賞品がおくられました。当日の入選作品の一部を次に紹介します。

◎ 俳句大会

「流水群」主宰 村山秀雄選

特選 万緑に神を引き寄す大鏡
秀逸 青葉風木の扉小開けのバンガロー
秀逸 蝶二つ空氣の神を舞いにけり
大瀧藤夫(白鷹町)
高橋千枝(長井市)
三上とよ(長井市)

◎ 短歌大会 「山麓短歌会」代表 結城晋作選

特選 緋の袴さやかにうつし真乙女の空氣称えてにほやかに舞ふ
入選 かがやきて光りを反す神殿の巡りに満てる空氣の旨し
早坂富美子(中山町)
大場敏子(河北町)
高橋庄司(中山町)

各種大会成績

第15回朝日町ソフトボール大会 (6月12日・西部地区総合運動場)

優勝 栄町 2位 四ノ沢
3位 大暮山・朝日ママソフトボール

第3回朝日町民グラウンドゴルフ大会 (6月5日・朝日自然観)

優勝	佐竹	亮一	2位	小林	敏五郎
3位	岡藤	一夫	4位	長奥	郎由正
5位	藤田	彦彦	6位	佐武	重石七美
7位	柴川	実利	8位	竹田	
9位			10位		

西村山地区中体連陸上大会 (6月28日・大江町民グラウンド)

優勝	布施	和行	(800m)
2位	岡黒	司	(110mハードル)
	成原	宏	(3000m)
	清野	知	(砲丸投げ)
	土屋	恵	(100mハードル)
3位	熊谷	知則	(3種B)
	阿部	正芳	(棒高とび)
	長岡	宏明	(1500m)
	清野	恵	(200m)
	高橋	愛	(100mハードル)

西村山地区中体連水泳大会 (6月28日・寒河江市民プール)

3位 菅井大介(200m個人メドレー)

西村山地区中学校総合体育大会 (6月18日・19日、各会場)

優勝	バスケ(女子)
	剣道(男子)
2位	卓球(男子)
	ソフトテニス(団体)
	ソフトテニス(佐藤高章・佐直康智組)
3位	剣道(女子)
	卓球(女子)
	ソフトボール
	バレーボール
	ソフトテニス(庄田悟・清野誠組)
	(小林哲・海野忠治組)
	剣道(池田慶介・布施和行)



こせきのまど

■6月1日～30日
届出



すこやかに

(出生届)

区名	出生氏名	父名
大谷四西町前田沢	木施田会	和宏義
鈴布	寿尚	和孝
智尚	也大	史



あしあわせに

(婚姻届)

小野	仁	♥	安藤	真原	紀
大谷	六	♥	松田	三木	礼沼
樋口	一	♥	立野	奈子	智
渡	本	博	八ツ	八岡	太郎
松阿	邊元	二	長岡	太裕	一
常	尾松	充	佐竹	裕子	子
	部	盤	大江町		



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
中沢	堀	勇
太郎	弥	邦雄
一大谷	大	みち子
五	大勝	榮
栗木沢	清一郎	雄七
宇津野	よし	七
大谷二	惣太郎	雄七
栗木沢	修	吉五郎
	ハルヨ	昭三

●平成6年6月30日現在

人口	10,156(減1)
男	5,058(減0)
女	5,098(減1)
世帯数	2,528(増4)

() 内前月比

人口と世帯数

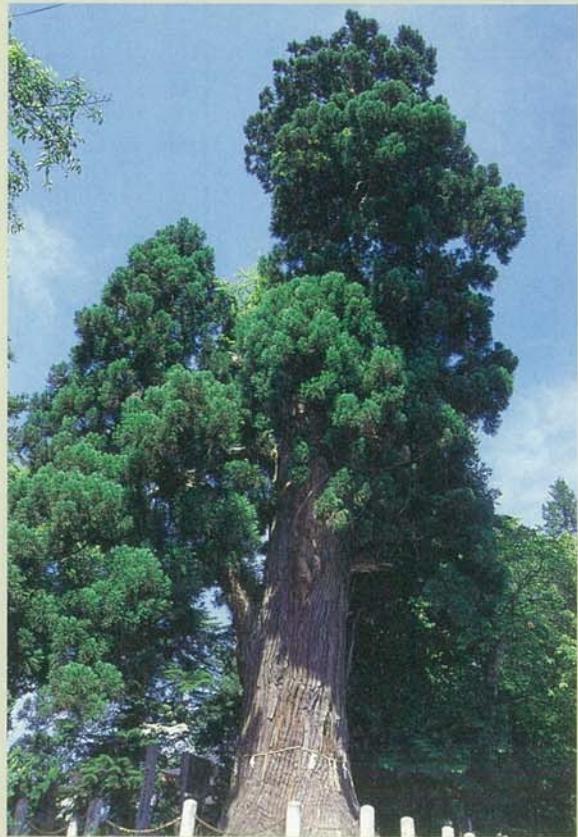
▼今月の特集は最上川エコシンボジウムを取り上げました。生活排水にしても「私一人ぐらいい大丈夫」という意識を変え、自ら行動に移すことが最も大切であると痛感しました。(安藤)

街路や、日曜日、月曜日に多いとのこと。七月二十一日から夏の安全県民運動がスタート。一人ひとりが気をひきしめ、事故のない明るい町にしたいものですね。

町の文化財シリーズ

県指定天然記念物

豊龍神社の大スギ

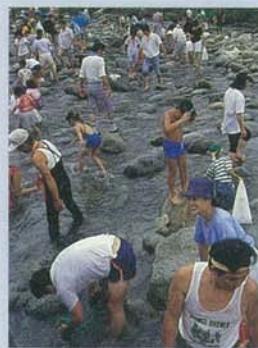


豊龍神社境内にあるスギの巨樹である。根周十一メートル、目通り幹囲七・五メートル、直幹でおよそ二丈四メートルの大スギである。上部は、昭和四十一年八月十一日の暴風雨や、昭和五十三年三月末の落雷によつて失われているが、樹勢なお盛んである。

この大スギは平安時代、承和十一年(八四四)延暦寺の僧安惠によって、豊龍神社創建の際に、御神木として植えられたと言い伝えられている。樹齢およそ千年以上と推定され、県内でもまれに見る大スギである。昭和四十年四月二十一日、県の天然記念物に指定された。

第12回朝日川渓流まつり

- とき 8月7日(日)
午前10時より
- ところ 立木河川公園
- 入場料 小学生以上600円
- イワナ・ヤマメ・ニジマスのつかみどりなど



情報箱

春 夏 秋 冬

編集後記

▼朝日連峰夏山開きが六月十九日に行われ、いよいよ夏山シーズンが到来。連日、朝日連峰の豊かな自然に魅せられた全国の登山者から、問い合わせが殺到している。この全国に誇るすばらしい朝日連峰に、地元の私たちは、案外登る機会が少ないのではないだろうか。

▼町内の交通事故が、昨年の五倍と異常に増えているという。特に開通した町立病院前の都市では、



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。